

社会資本総合整備計画 事後評価書												令和05年12月04日				
計画の名称	安全で利便性が高く快適な港湾環境の形成															
計画の期間	平成29年度 ～ 令和03年度（5年間）											重点配分対象の該当				
交付対象	苫小牧港管理組合															
計画の目標	港湾施設整備の促進により、安全で利便性が高く快適な港湾環境の形成を図る。															
全体事業費（百万円）		合計（A+B+C+D）		1,281	A	1,281	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H29当初)	(R1末)	(R3末)
1	苫小牧港西港区埠頭間道路の整備を行い、晴海ふ頭～東ふ頭において低速で走行する港湾関係車両の移動時間を47%短縮させる。			
	低速で走行する港湾関係車両の移動時間を短縮	0%	0%	47%
	算定式=(1-(整備後の港湾低速車両の移動時間/整備前の港湾低速車両の移動時間))×100（%）			
2	苫小牧港西港区南ふ頭埠頭内道路の改良を行い、埠頭内を走行する港湾関係車両が安全に通行できる道路改良率を44%向上させる。			
	港湾関係車両が安全に走行できるよう道路改良率の向上(南ふ頭1号線および4号線)	0%	0%	44%
	算定式=(整備後の道路延長/整備前の道路延長)×100(%)			

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－	避難確保計画の策定		避難行動要支援者名簿の提供	

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
港湾事業	A02-001	港湾	北海 道	苫小牧港 管理組合	直接	苫小牧港管 理組合	拠点	建設	埠頭間道路整備	延長 L=1,760m	苫小牧港・西港 区	■	■	■	■	■	1,137		—
	A02-002	港湾	北海 道	苫小牧港 管理組合	直接	苫小牧港管 理組合	拠点	改良	南ふ頭埠頭内道路改良	延長 L=395m	苫小牧港・西港 区			■	■	■	144	3.3	—
											小計						1,281		

事 後 評 価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
苫小牧港管理組合	令和5年度
	公表の方法
	苫小牧港管理組合ホームページ

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	指標1：要求額と配分額の差により、路盤の施工を先行して事業を進捗しており、表層が完成しておらず供用開始できないため評価しない。未整備部分は次期交付金計画において実施する。 指標2：計画通り完了した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○特記事項（今後の方針等）

指標1：定量的指標の基準では評価できないが、路盤施工で実施した区間の延長による進捗率は約13%程度。物流機能の維持・強化を図るため次期整備計画に位置づけ、整備に必要な予算の確保に努め早期整備完了を目指す。

指標2：維持管理計画書に基づき、計画的に港湾施設の管理を実施する。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	47		
	最 終 目標値	47%	要求額と配分額の差により、路盤の施工を先行して事業を進捗しており、表層が完成しておらず供用開始できないため完成数量として計上していない。未整備部分は次期交付金計画において実施する。
	最 終 実績値	0%	
2	44		
	最 終 目標値	44%	
	最 終 実績値	44%	